

【資料1】

第4次八尾市地域福祉計画 進捗状況(まとめ)

第4次八尾市地域福祉計画 体系図（基本目標と実行計画等）

基本目標	実行計画	具体的な取組	取組み内容	取組件数	
1 身近な地域でつながり 支え合う基盤づくり	(1)地域福祉への意識、 関心の啓発・醸成	① 地域福祉のおもしろさを拡散する	① 「地域福祉」が目に入る機会を増やす	4	
			② 地域福祉の「プラットフォーム」をつくる	1	
			③ 地域福祉の「広告塔」をつくる	0	
		② 福祉のこころを育てる	① さまざまな人がつどい学べる場をつくる	2	
			② 地域の人がこどもたちの福祉の芽を育てる	0	
			③ 人権の視点に立った地域をつくる	① 多様性を理解する機会を増やす ② 人権福祉教育をひろめる	3 3
	(2)地域力向上に向けた 支援	① 地域の「やってみたい」「やってみよう」を応援する	① 地域活動をする人や団体に光をあてる	2	
			② 大学生、民間企業などさまざまな主体と地域をつなげる	0	
			③ 地域福祉活動のスタートダッシュを応援	2	
		② 地域づくりのプロフェッショナルをつくる	① 社協コミュニティワークの充実	1	
			② 地域づくりのコーディネーターのプロをつくる	1	
			③ 地域福祉活動の見せる化	① お互いをほめるしくみをつくる ② お互いのよりところを見せ合う場をつくる	1 1
	(3)見守り・早期発見の しくみづくり	① 地域の「見つける力」を高める	① 八尾市民の「ほっとかれへん」を目覚めさせる	0	
			② 「気づき」をレベルアップするための経験をつむ	1	
		② 地域の「見つける力」をつなげる	① つなげる「キーパーソン」をつくる	1	
② 見つけたものを気軽に共有するしくみをつくる			0		
2 多様な主体の参加支援 と連携・協働の推進	(1)幅広い市民の参加促進	① 交流の場、居場所づくり	① 「□□」ついでに立ち寄れる場をつくる	3	
			② 「△△」すぎてワクワクする場をつくる	7	
		② 地域で活躍する場や機会をつくる (おせっかい活動をひろげる)	① 時間にとらわれず活動できる場をつくる	0	
			② 「すき」や「とくい」を生かせる活動を増やす	4	
	③ こどもの頃から地域のおせっかいにふれる原体験をつくる		0		
	④ おせっかい応援制度をつくる		1		
	(2)地域福祉の担い手の すそ野拡大	① 「おせっかい人材」を見つける、育てる	① 「おせっかい達人」の発掘	6	
			② 「おせっかい人材」を養育する研修の開催	4	
		② ボランティア団体を地域へつなげる	① 地域ニーズにそったボランティアを増やす	2	
			② ボランティア活動のにぎわいをつくる	3	
		③ たすけあい有償活動をひろげる	① 住民の「困った」と「役立ちたい」をマッチング	0	
			② 住民の「とくい」を生かせる有償活動	1	
		④ 福祉のプロを育てる	① 福祉人材の魅力を伝える	1	
			② 専門性を高める研修や職場内教育（OJT）を実施する	1	
	③ 社協・社会福祉法人やサービス事業者等と一緒に福祉のプロを育てる		0		
	④ 企業と福祉の接点を地域でつくる		26		
	(3)多様な主体との連携 強化	① 企業・NPO・学校等とつながる	② NPOの強みを地域福祉活動につなげる	1	
			③ 学校等とのコラボレーション	1	
			④ 社会福祉法人の取組の見える化	0	
		② 社会福祉法人の活躍の見える化	② 地域のニーズにあった地域貢献活動をひろめる	0	
			③ 八尾市社会福祉協議会とともにめざす「地域福祉の推進」	① さまざまな場や機会を社協と共有する	1
				② 地域福祉活動計画との一体的な推進	1
	3 身近な地域で支援が届く しくみづくり	(1)地域の権利擁護の推進	① 暴力・虐待に「気づく」「見つける」「声をかける」「つなぐ」	① 地域で「暴力・虐待を許さない意識」を高める	0
				② 早期発見・早期対応に向けた取組を行う	4
② 認知症になっても、障がいがあっても自分らしく暮らせる			① 暮らせるよう「八尾市成年後見制度利用促進計画」を策定し、取組を進める。	5	
			① 誰ひとり取り残さない相談窓口	① どこにもつながらない相談を受け止める	3
② 早く気づく、早く支援につなげる		5			
② 自立への支援		① 社会参加の場の開拓や創出		3	
		② 就労訓練、就労の場の開拓や創出	5		
③ たくさんの人や支援がつながる		① いろんな分野に福祉がつながる	3		
		② 地域で気づく、地域で見守る	0		
(3)災害時要配慮者への 支援づくり		① 災害時要配慮者への支援づくり	① 「八尾市避難行動要支援者支援マニュアル」の周知と、それを活用した実効性のある避難支援	2	
			② 誰ひとり取り残さないための実態把握	2	
			③ 福祉避難所の充実	0	
(4)支援機関協働による 地域生活課題を解決する しくみづくり		② 発災時に備えた日ごろからのつながりづくり	① 同意者リストの地域での活用	5	
			① 断らない相談支援体制づくり	① 「つなげる支援室」が、ケースにあわせた支援チームをつくる	1
		② 支援機関がスムーズに連携できる個人情報の管理や共有ルールをつくる		1	
		③ さまざまな分野が支援に加わる場や機会をつくる		2	
		④ ちょっとした変化や異変に「気づける」市役所をつくる	1		
⑤ 困難なケースにもしっかり向き合い支援できる専門職をつくる		1			

基本目標 1 身近な地域でつながり支え合う基盤づくり

概 要
<p>地域を舞台にさまざまな人や団体が行っている「おせっかい」活動をもっともっとパワーアップさせるため、社協や出張所、人権コミュニティセンター（隣保館）などが、新たな事業展開や環境整備を地域とともに進めていきます。そして、すべての人がしあわせを感じるまちにするため、地域を拠点とするあらゆる機関、あらゆる人が支え手・受け手の関係を超えて、つながり、支え合う基盤づくりを行っていきます。</p>

アウトカム指標					
地域での福祉活動が活発だと思ふ市民の割合					
R1	R2	R3		R4	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
29.9	30.1	60	30	60	

実行計画（1）					実行計画（2）					実行計画（3）									
地域福祉への意識、関心の啓発・醸成					地域力向上に向けた支援					見守り・早期発見のしくみづくり									
アウトプット指標					アウトプット指標					アウトプット指標					アウトプット指標				
さまざまな人がつどい学べる場の修了者数					八尾市地域福祉推進基金活用件数					見守り活動への協力事業者数					「災害時要配慮者支援指針」に基づく同意者リスト活用小学校区数				
R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値
-	-	65	65	70	8	0	10	8	10	701	618	715	645	720	-	-	4	2	13
具体的な取組① 地域福祉のおもしろさを拡散する					具体的な取組① 地域の「やってみたい」「やってみよう」を応援する					具体的な取組① 地域の「見つける力」を高める									
ピックアップ指標					ピックアップ指標					ピックアップ指標					ピックアップ指標				
4					12					15					小地域ネットワーク活動の個別援助活動対象者数				
R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値
272	0	200	500	200	8	0	10	8	10	53,259	54,857	60,000	60,000	60,000					
具体的な取組② 福祉のこころを育てる					具体的な取組② 地域づくりのプロフェッショナルをつくる					具体的な取組② 地域の「見つける力」をつなげる									
ピックアップ指標					ピックアップ指標					ピックアップ指標									
6					14					15									
R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値
13,103	14,073	13,500	15,164	14,800	-	-	768	768	768	53,259	54,857	60,000	60,000	60,000					
具体的な取組③ 人権の視点に立った地域をつくる					具体的な取組③ 地域福祉活動の見せる化														
ピックアップ指標					ピックアップ指標					ピックアップ指標									
7					12					地域福祉推進基金事業助成団体数(再掲)									
R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4	R1	R2	R3		R4
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値
1,543	707	1,610	965	1,620	8	0	10	8	10										

<p>令和3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標である「地域での福祉活動が活発だと思ふ市民の割合」が目標には届いていない状況である。 ・地域福祉推進基金活用事業において、より市民にとって利用しやすい制度となるよう、助成対象団体の要件の見直しなどを行い、助成団体を増やすことができた。 ・コロナ禍の中、対面や集合しての研修やセミナー等を行なうのが非常に難しい状況下において、動画配信等によって研修やセミナー等行うなど、新たな形態で事業実施する取り組みを行った。 	<p>次年度に</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人がつどい学ぶことができる場を提供する事業を進めて市全体でおせっかいレベルを高め、市内の各地域における福祉活動の活性化につなげていく。 ・地域福祉推進基金活用事業においては、地域ニーズに応じたより一層使いやすくなるような仕組みを検討するとともに、本事業について市民に広く知っていただき、利用してもらえるよう効果的な広報について実施していく。 ・会議や研修を開催するときは、ICTを取り入れるなど適切な実施方法や効果的な手法の検討を行っていく。また、ICTの使い方や教え方などを工夫し、積極的な活用を促し、その利便性を理解してもらう。
--------------	---	-------------	--

基本目標2 多様な主体の参加支援と連携・協働の推進

概要
<p>身近な地域で心の通う人間関係を育むことや、一人ひとりが身近な地域を舞台に個性や創造性を発揮しながら役割を担っていくことは、人に安心感を与えるだけでなく、生活の豊かさの幅をひろげることに繋がります。地域に住まう、また、活動するすべての人が、地域を好きになり、しあわせを感じて暮らしていけるよう、おせっかいを実行します。</p>

アウトカム指標					
地域活動や市民活動に参加した経験がある市民の割合					
R1	R2	R3		R4	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
41.6	41.4	60	40	60	

実行計画（1）						実行計画（2）						実行計画（3）											
幅広い市民の参加促進						地域福祉の担い手のすそ野拡大						多様な主体との連携強化											
アウトプット指標						アウトプット指標						アウトプット指標											
地域資源マップ登録者件数						地域の福祉活動に関わっているボランティアセンターにおける福祉ボランティア登録者数						市民後見人バンク登録者数						地域内のさまざまな主体での会議回数（高齢者、障がい者、学校園等、保育所（園）、児童に関する地域内施設等）					
R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
326	325	330	330	340		1,852	1,710	1,870	1,647	1,880		28	29	43	32	46		50	21	67	48	67	
具体的な取組① 交流の場、居場所づくり						具体的な取組① 「おせっかい人材」を見つける、育てる						具体的な取組④ 福祉のプロを育てる						具体的な取組① 企業・NPO・学校等とつながる					
ピックアップ指標			23 高齢者ふれあいサロン登録数			ピックアップ指標			31 参加者の満足度（福祉人材養成事業）			ピックアップ指標			35 子育て支援員研修修了者数			ピックアップ指標			50 包括連携協定を締結した企業や大学等と、連携した取り組みを行った数		
R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
7	6	7	6	8		—	—	80	80	80		48	37	40	37	40		—	—	81	74	87	
具体的な取組② 地域で活動する場や機会をつくる（おせっかい活動をひろげる）						具体的な取組② ボランティア団体を地域へつなげる						具体的な取組② 社会福祉法人の活躍の見える化											
ピックアップ指標			25 自主活動グループ数			ピックアップ指標			28 地域の福祉活動に関わっているボランティアセンターにおける福祉ボランティア登録者数（再掲）														
R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
30	27	35	29	40		1,852	1,710	1,870	1,647	1,880													
具体的な取組③ たすけあい有償活動をひろげる						具体的な取組③ 八尾市社会福祉協議会とともにめざす「地域福祉の推進」																	
						ピックアップ指標			34 年間就業率（シルバー人材センター）			ピックアップ指標			53 社会福祉協議会との会議数								
						R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4							
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
90.9	85	96	96	78		35	40	120	120	120													

関連事業なし

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もあり、各実績が目標値を下回ることが多い。 コロナ禍であっても活動が出来るよう活動の工夫をしていく必要がある。 今まで地域活動に関わって来なかった層からも人材を掘り起こし、地域福祉活動につなげる取り組みとして、地域でデジタルが得意な人材を募集し、デジタルサポーターを養成した。 生活困窮分野等において、社会福祉法人が取り組む多様な地域貢献活動との連携実績がある一方で、「社会福祉法人の活躍の見える化」につながる事業がないため、次年度にむけて検討を行う必要がある。
-------	--

次年度に	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響も踏まえ、その状況下だからこそ必要であることを見つけ、活動につなげることができる地域の人材発掘やその活動の支援をしていく。 地域の「おせっかい人材」として継続して活動していくことのできるデジタルサポーター等の人材養成を進めていく。 さまざまな事業に係る活動の参加者を養成するだけでなく、養成された方を地域につなげるコーディネート機能を強化していく。また、学生ボランティアなどさまざまな主体との協働が活性化されるように、地域福祉推進基金を活用していく。 「社会福祉法人の活躍の見える化」については、重層的支援体制の構築に向けた取組として、社会福祉法人の地域貢献活動とのさらなる連携を図っていく。
------	---

基本目標3 身近な地域で支援が届くしくみづくり

概要
<p>介護、障がい、児童、生活困窮、医療・保健・権利擁護などの暮らしを支える関係事業の充実を図るとともに、地域で盛んに行われている地域福祉活動と情報を共有し、専門機関等がしっかりタッグを組んで課題解決に向けて取り組んでいけるよう、課題を抱える人や世帯をまるごと支援する専門職等によるおせっかい体制をつくります。また、これらの課題等に対し、専門職等がスムーズに支援タッグを組めるよう、地域で困りごとによりしっかりと向き合い、活動する福祉生活相談支援員等を巻き込みながら、コーディネートする「つなげる支援室」を新たに設置し、誰ひとり取り残さない支援を行います。</p>

アウトカム指標					
つなげる支援室で支援調整などを行った件数					
R1	R2	R3		R4	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
-	-	100	100	150	

実行計画（1）						実行計画（2）						実行計画（3）						実行計画（4）											
地域の権利擁護の推進						生活困窮者への支援						災害時要配慮者への支援づくり						支援機関協働による地域生活課題を解決するしくみづくり											
アウトプット指標			アウトプット指標			アウトプット指標			アウトプット指標			アウトプット指標			アウトプット指標														
権利擁護に関する相談件数（チーム派遣・個別相談・専門相談・市民後見人相談の合計）						市民後見人の受任件数						相談件数に占める生活困窮者自立支援プランを作成した割合（率）						「災害時要配慮者支援指針」に基づく同意者リスト活用小学校区数						つなげる支援室で支援調整などを行った件数					
R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		計画値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
		200	261	200		5	7	4	7	6		47.47	50	50	50	50		-	-	4	2	13		-	-	100	100	150	
具体的な取組① 暴力・虐待に「気づく」「見つける」「声をかける」「つなぐ」						具体的な取組② 認知症になっても、障がいがあっても自分らしく暮らせる						具体的な取組① 誰ひとり取り残さない相談窓口						具体的な取組① 災害時要配慮者への支援づくり						具体的な取組① 断らない相談支援体制づくり					
ピックアップ指標			虐待通報件数（高齢介護課）			ピックアップ指標			市民後見人受任件数（再掲）			ピックアップ指標			福祉生活相談支援事業の相談件数			ピックアップ指標			73、74 同意者リスト登録者数			ピックアップ指標			77 開催回数（地域ケア会議）		
R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		計画値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
151	178	150	160	150		5	7	4	7	6		233	245	250	250	270		4,587	4,439	4,000	4,274	4,100		152	139	152	152	157	
												具体的な取組② 自力への支援						具体的な取組② 発災時に備えた日ごろからのつながりづくり											
												ピックアップ指標			70 地域就労支援事業相談件数			ピックアップ指標			73、74 同意者リスト登録率								
												R1	R2	R3		R4		R1	R2	R3		R4							
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値							
												1,697	1,374	1,260	1,360	1,400		33	32	50	31	51							
												具体的な取組③ たくさんの人や支援がつながる																	
												ピックアップ指標			62 他機関や他制度と連携した件数（生活支援資金貸付）														
												R1	R2	R3		R4													
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値								-	-	35	35	40													

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 地域の権利擁護の推進においては、中核機関の設置により、従前よりもさまざまな相談が多くなってきており目標を達成している状況である。 生活困窮者への支援においては、分野別の枠組みでは、対応が困難である「どこにもつながらない」ケースについて自立相談支援機関や福祉生活相談支援員等が、まずは受け止め、多機関とつながり支援を進めた。 地域共生社会に向けた包括的支援を推進するため、「断らない相談支援」を行う体制整備を行った。具体的には、介護、障がい、子育て、生活困窮などの複雑化・複合化した課題を抱えた世帯を関係機関で連携して支えるために、総合調整機能を持つ「つなげる支援室」を新たに設置し、各相談機関の連携を強化し、市全体の相談機能の向上に努めた。 	次年度に	<ul style="list-style-type: none"> 権利擁護支援で必要不可欠となる「意思決定支援」に関して、さまざまな取り組みを行っていく。主に市民後見人バンク登録者などを活用した新しい意思決定支援のモデル事業を展開していく。また、日ごろから市民後見人となり得る人材を発掘できる取り組みも検討していく。 生活困窮者への支援においては、自立相談支援機関や福祉生活相談支援員が連携し、「誰ひとり取り残さない相談窓口」として支援につながらない人や世帯に対し、アウトリーチを通じた支援ができるよう、実績を積み上げていく。 災害時要配慮者支援事業については、土砂災害警戒区域のある高安・南高安地区を本事業の重点取組地区とし、自ら避難することが困難な避難行動要支援者については、「個別避難計画」を活用し、必要に応じて、福祉事業者等と連携し、避難時の移送支援や福祉避難所へ直接避難ができるよう体制を構築する。 重層的支援体制の構築をする中で市の重層的支援体制整備計画を策定していく。また、その中でつなげる支援室が中心となって関係機関が互いの役割を認識して連携を深め、相談支援やアウトリーチを通じた継続的な支援、参加支援、地域づくり支援が一体的に進められる体制づくりに取り組む。
-------	--	------	--